

2024 年度 シラバス

| 科目名<br>教育方法学特論 (R6 認定通信)   | 単位数<br>4 単位 | 担当教員<br>仲 久徳 |
|--|-------------|--------------|
| <p><b>テキスト</b> *以下の 2 冊を用意してください。</p> <p>(1) 大島 純・千代西尾祐司編 (2019), 『主体的・対話的で深い学びに導く 学習科学ガイドブック』, 北大路書房 ISBN-10:4762830801</p> <p>(2) 木村 優・岸野麻衣編 (2019), 『授業研究—実践を変え、理論を革新する』, 新曜社 ISBN-10:4788516314</p>  |             |              |
| <p><b>科目の概要</b></p> <p>本科目では、「主体的・対話的で深い学びの実現」または「令和の日本型学校教育」において求められている「個別最適な学びと協働的な学びの実現」に資する授業・教材デザイン、授業研究に焦点を当て、主に以下の 3 点について学んでいきます。</p> <p>①「令和の日本型学校教育」の姿、今後の方向性について理解する。</p> <p>②学習科学の基礎的事項を学習するとともに、自ら設定した授業テーマで「主体的・対話的で深い学びの実現」または「個別最適な学びと協働的な学びの実現」に資する授業をデザインし、教材としてワークシートを作成する。</p> <p>③授業研究の理論的事項や事例について学習するとともに、実用性のある授業研究の方法を提案する。</p> |             |              |

**I 科目の目的・ねらい**

本科目の到達目標は以下の 2 点です。

1. 学習科学の基礎的事項を理解し、自ら設定した授業テーマで「主体的・対話的で深い学びの実現」または「個別最適な学びと協働的な学びの実現」に資する授業をデザインし、教材としてワークシートを作成できる。
2. 授業研究の理論的事項を理解し、実用性のある授業研究の方法を提案できる。

**II 授業計画と評価**

- 第 1 回 本科目の内容・学び方について学ぶ
- 第 2 回 「令和の日本型学校教育」姿、今後の方向性について学ぶ
- 第 3 回 授業テーマを設定する
- 第 4 回 学習科学の基礎的事項を学ぶ① 主体的な学び(テキスト①第 3 章・第 6 章)
- 第 5 回 学習科学の基礎的事項を学ぶ② 対話的な学び(テキスト①第 2 章・第 5 章)
- 第 6 回 学習科学の基礎的事項を学ぶ③ 深い学び(テキスト①第 1 章・第 4 章)
- 第 7 回 授業・教材をデザインする① 設定した授業テーマでの授業デザイン
- 第 8 回 授業・教材をデザインする② 授業で使用するワークシートの作成
- 第 9 回 授業研究の理論的事項を学ぶ① 授業研究とは何か?(テキスト②第 1 部)
- 第 10 回 授業研究の理論的事項を学ぶ② 授業を見て記録する(テキスト②第 2 部)
- 第 11 回 授業研究の理論的事項を学ぶ③ 授業研究会を組織する(テキスト②第 3 部)
- 第 12 回 授業研究の事例を学ぶ 授業研究の実際(テキスト②第 4 部)

- 第13回 授業研究の方法を提案する① 日常的に取り組める授業研究の提案  
第14回 授業研究の方法を提案する② 校内研究で取り組める授業研究の提案  
第15回 本科目のまとめ・学修の振り返りをする  
科目修得試験

評価については、レポート50%、科目修得試験50%の割合で行う。

### Ⅲ 参考文献

- (1) 中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)」(令和3年1月26日)  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985\\_00002.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm)
- (2) 中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～『新たな教師の学びの姿』の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～(答申)」  
[https://www.mext.go.jp/content/20221219-mxt\\_kyoikujinzai01-1412985\\_00004-1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20221219-mxt_kyoikujinzai01-1412985_00004-1.pdf)
- (3) その他、テキストに記載の参考文献等

### Ⅳ その他

この機会に、理論と実践の往還を取り入れ、よりよい授業・教材デザインや有意義な授業研究の実現を目指して、本科目の学習に取り組まれることを期待しています。